NIE実践報告

1．タイトル：新聞を通して、世の中の動きを考えさせる社会科授業

2．学校名

袋井市立袋井中学校

3．実践者名（代表者名）

國永　賢吾

4．学年

3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　２１７名

6．単元（本時の学習課題）名

実際に社会でおきている出来事を知り、自分の意見をもとう

7．目標(狙い)

新聞を通して社会的事象に触れ、自分なりの考え・意見をもち、友人と討論することにより、社会に対して主体的に関わろうとする意欲・態度を育てる。

8．評価の視点

自分が担当する内容の記事を新聞内から見つけ、感想を書くことができるか。級友が担当した記事のまとめや感想を読んで、自分なりの意見をもつことができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

国際社会とわたしたち　～新聞を通して～　５時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①２０１１年国内・海外の重大ニュースを大まかにとらえよう。（１時間）
②新聞からその内容の記事を見つけ、切り取りまとめよう。（１時間）
③切り取りまとめた記事を読んで、感想を書こう。（１時間）
④みんなが作った記事を読んで、自分なりにまとめよう。（２時間）

（留意点）
・グループ分けをして、自分が担当する内容を明確にする。
・感想は、新聞の言葉を引用するのではなく、自分の言葉で書くようにする。
・みんなが作った記事を読むときは、他者との交流を大切にしたい。
・出来の良い作品にはシールを貼るなどして、生徒に評価をさせたい。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「こんなに新聞を真剣に読んだのは初めて」
「何て書いてあるかわからない」
「この記事に感動した」

12．成果と課題

新聞へのなじみが薄れてきているのは事実である。テレビやインターネット、携帯電話などのメディアが発達し、情報が溢れる中で、新聞を情報源にする人は減っている。しかし、新聞には記者の思いが入っている。情報収集のためだけではなく、読み物として素晴らしい内容が多い。それは生徒の「この記事に感動した」の声にでている。朝読書の時間に新聞を読ませるなど、新聞の魅力を伝える方法を考えていきたい。